

平成 22 年度第 29 回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員会委員長 塩澤 泰

第 29 回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申し上げます。

[] 応募状況

(1) 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21
73校	77校	66校	72校	7校	5校	56校	62校	7校	5校	10校	10校	0校	0校

(2) 応募作品数

課題名	加盟校別	回数	学校数・作品数		全日制・作品数		定時制・作品数	
課題 1	加盟校	H22	53校	133点	50校	125点	3校	8点
		H21	55校	137点	52校	130点	3校	7点
	加盟校以外	H22	8校	20点	8校	20点	0校	0点
		H21	5校	13点	5校	13点	0校	0点
課題 2	加盟校	H22	27校	61点	24校	57点	3校	4点
		H21	27校	59点	26校	58点	1校	1点
	加盟校以外	H22	4校	8点	4校	8点	0校	0点
		H21	5校	13点	5校	13点	0校	0点
課題 3	加盟校	H22	34校	75点	31校	68点	3校	7点
		H21	34校	73点	30校	67点	4校	6点
	加盟校以外	H22	3校	7点	3校	7点	0校	0点
		H21	4校	9点	4校	9点	0校	0点
課題 4	加盟校	H22	11校	20点	11校	20点	0校	0点
		H21	12校	31点	12校	31点	0校	0点
	加盟校以外	H22	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H21	1校	2点	1校	2点	0校	0点
課題 5	加盟校	H22	11校	20点	11校	20点	0校	0点
		H21	9校	17点	9校	17点	0校	0点
	加盟校以外	H22	2校	6点	2校	6点	0校	0点
		H21	2校	6点	2校	6点	0校	0点
応募校計		H22	353点 (加盟校 309点・加盟校以外 44点)					
		H21	360点 (加盟校 317点・加盟校以外 43点)					

(3) 校内作品審査数の総計

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	課題 5
加盟校	H22	1573点	513点	557点	45点	43点
	H21	1219点	510点	474点	111点	37点
加盟校 以外	H22	223点	65点	27点	7点	10点
	H21	23点	50点	74点	3点	9点
応募校計	H22	1796点	578点	584点	52点	53点
	H21	1242点	560点	548点	114点	46点

[] 入賞者

	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
課題 1 : 軒先マワリ詳細図				
1	金賞	栃木県立小山北桜高等学校	建築システム科2年	橋本涼平
2	銀賞	栃木県立小山北桜高等学校	建築システム科2年	坂本廣紀
3	銅賞	愛媛県立松山工業高等学校	建築科1年	松浦未季
4	銅賞	広島市立広島工業高等学校	建築科1年	定行桃
5	銅賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科1年	吉田有沙
6	銅賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科1年	野竹紗英
7	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科1年	福田奎也
8	入賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学科2年	青木寿公
9	入賞	静岡県立科学技術高等学校	建築デザイン科1年	石原修一
10	入賞	静岡県立科学技術高等学校	建築デザイン科1年	江口海斗
11	入賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科1年	中澤瑛莉香
12	入賞	群馬県立前橋工業高等学校	建築科1年	長嶋慶
13	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築・土木科1年	伊奈龍也
14	入賞	群馬県立高崎工業高等学校	建築科1年	矢野一成
15	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科1年	木村里紗
16	入賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築科1年	稲葉直樹
17	入賞	長野県長野工業高等学校	建築科1年	山本真那
18	入賞	愛知県立豊崎工業高等学校	建築・土木科1年	上出晃史
19	入賞	仙台市立仙台工業高等学校	建築土木科2年	原口愛美
課題 2 : 木造平家建専用住宅				
1	金賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科3年	浅川絵莉子
2	銀賞	岐阜県関市立関商工高等学校	建設工学科2年	古川聡大
3	銀賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科2年	富田栞奈
4	銀賞	岐阜県関市立関商工高等学校	建設工学科2年	西部泰輔
5	銅賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科2年	羽石尚暉
6	銅賞	千葉県立市川工業高等学校	建築科2年	山田梨左
7	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	長谷川楓
8	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科2年	濱垣亮

9	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科2年	水上綾子
10	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科2年	村山嬉恵
11	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	清水大祐
12	入賞	名古屋市立工芸高等学校	建築科2年	西知里
13	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科2年	大垣潤弥
14	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	田村文
15	入賞	岐阜県立可児工業高等学校	建設工学科2年	岩井萌香
16	入賞	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科2年	加納雅也
17	入賞	長野県飯田長姫高等学校	建築科2年	熊谷直也
18	入賞	静岡県立伊豆総合高等学校	建設工学科2年	水品沙知恵

課題3：木造2階建専用住宅

1	金賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	石部健多
2	銀賞	関市立関商工高等学校	建築科3年	長尾竜史
3	銀賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	神谷有香
4	銀賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科3年	藤井千保子
5	銅賞	兵庫県立東幡工業高等学校	建築科3年	永田康貴
6	入賞	新潟県立新発田南高等学校	建築工学科3年	渡辺万梨
7	入賞	愛知県立一宮工業高等学校	建築科2年	白木佑弥
8	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	永野雄大
9	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科3年	金子将大
10	入賞	新潟県立新発田南高等学校	建築工学科3年	高橋千秋
11	入賞	福島県立福島工業高等学校	建築科3年	大内晃
12	入賞	兵庫県立東幡工業高等学校	建築科3年	太白武志
13	入賞	兵庫県立東幡工業高等学校	建築科3年	山谷佳路
14	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	大海僚介
15	入賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学科3年	星野未帆
16	入賞	岐阜県立高山工業高等学校	建築科2年	澤田一海
17	入賞	愛知県立愛知工業高等学校	建築科3年	棟田織帆

課題4：木造平家建専用住宅CAD製図

1	金賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	高市晃弘
2	銀賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科2年	永井花奈
3	銅賞	栃木県立今市工業高等学校	建設工学科3年	久米身佳
4	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	黒川拳
5	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	石川雅敏
6	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	清水大祐
7	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科2年	堀江翔也
8	入賞	静岡県立科学技術高等学校	建築科2年	牧田光
9	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	西原裕騎
10	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	吉葉喬五

課題5：木造2階建専用住宅のプレゼンテーション作品				
1	金賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	大海僚介
2	銀賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	嶋之内晃
3	銅賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	西岡拓也
4	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	宮崎梓
5	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科3年	永野雄大
6	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科3年	都竹伸
7	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科3年	黒澤宏樹
8	入賞	松山聖陵高等学校	建築科3年	中塚植哉
9	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科3年	磯貝徹
10	入賞	愛知県立半田工業高等学校	建築科3年	岡田一輝

[] 審査

1. 賞の選出

- (1) 最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- (2) 定時制課程から入賞以上を選出する。

2. 課題別審査の観点

- (1) 課題1「軒先マワリ詳細図」
 - 1) 引き出し線の位置は考慮しない。
- (2) 課題2「木造平家建専用住宅」
 - 1) 機能を充たす屋根の形状、くい違いに留意する。
 - 2) 製図規約を重視する。
- (3) 課題3「木造2階建専用住宅」
 - 1) 計画性を重視し、製図規約も考慮する。
 - 2) 階段に手すりを設けていない作品は、金銀銅賞からはずす。
- (4) 課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)
 - 1) 1枚しか提出していない場合は審査外とする。
 - 2) 機能を充たす屋根の形状、くい違いに留意する。
 - 3) 製図規約を重視する。
- (5) 課題5「木造2階建専用住宅」のプレゼンテーション作品
 - 1) 製図規約は考慮しない。
 - 2) プレゼンテーション・表現を重視する。

3. 審査方法

(1) 一次審査

- 1) 審査は委員全員でおこなう。
- 2) 原図を使用し、各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- 4) 絞る基準は、作品を比較して相対的(うまい・下手・きれい・これでは入賞に該当しない等)なものとする。

(2) 二次審査

- 1) 審査は委員全員でおこなう。
- 2) 表題欄をカットする。
- 3) 複写図面を使用し、チェックを書き込む。
- 4) 入賞作品と入賞作品外の再度の確認をおこなう。
- 5) 最終決定を投票で行なう。

[] 審査講評

(1) 今年度の減点項目

<p>課題1 軒先マワリ詳細図</p> <p>松丸太に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部材断面形状の間違い(寸法が不正確) ・太鼓落しを表現する線が雑である(曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い) 曲線のフリーハンドは失格ということはありません。今年度1点入賞しております。 <p>文字に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抜けている ・大きすぎる, 小さすぎる,バラバラである。 <p>野縁に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置が軒桁中心から取られていない。 <p>天井に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製図例2-6に基づいていない。 <p>線の使い方に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下書き線が濃すぎる。 ・線が太すぎる。
<p>課題2 木造平家建専用住宅</p> <p>配置図兼平面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭の計画が未熟。 ・道路境界線, 隣地境界線と建物の距離が抜けている。 ・隣地境界線を実線で書く等, 線の使い方を間違えている。 ・床の仕上げを表現している。 <p>立面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面と屋根の食い違い。 ・平面形状に対してスケール感が無い。 <p>断面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図切断線の位置との食い違い。 <p>屋根伏図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根勾配が未記入。
<p>課題3 木造2階建専用住宅</p> <p>設計主旨に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主旨と計画の食い違い。 ・人数と, プランの面積があまりにも違う。 ・車椅子で使うには無理な計画。 <p>配置兼平面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちじるしく小さすぎる子供部屋。 ・家具がない。 ・高低差を配慮していない。 <p>柱に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抜けている。 <p>階段に関して</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・手すりがない。 ・段数が多すぎる，少なすぎる。
<p>駐車スペースに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車と駐車スペースの表記方法の違い。
<p>立面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図との食い違い。 ・異常に高い。 ・凝っているが食い違う。
<p>断面図に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形状が不適切（異常に高すぎる，低すぎる）。 ・高さ記入がない。
<p>課題4 木造平家建専用住宅 CAD製図</p>
<p>表現に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手書き表現でない（CAD特有の表現のまま）。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題2と同様。
<p>課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーション CAD作品</p>
<p>プレゼンテーション力に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パース，模型，説明図，着色等の優劣。 <p>計画力に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナリティ。 ・図面の整合性。

(2) 総評

<p>課題1 軒先マワリ詳細図</p> <p>金賞図面は，教科書の図面を正確にかつ丁寧に模写した図面です。各部品形状の作図が正確で，線種の太さのバランス，力強さは見事です。また，文字数字のレタリングは，文字の大きさ・位置を下書き線で配置するなど丁寧に仕上げています。</p> <p>金賞以外の図面についてもそれぞれ優秀な図面がたくさんありますが，部材の基本寸法の正確さや文字や数字の丁寧さがアンバランスである図面が目立ちます。</p>
<p>課題2 木造平家建専用住宅</p> <p>金賞図面は，平面図の模写，造園計画，立面と屋根の計画，屋根伏図等に，くい違いがなく完成度の高い作品です。庭と屋上テラスをウッドデッキにする等の工夫もみられます。</p> <p>金賞以外の図面についてもそれぞれ優秀な図面があります。造園計画において，目を引くような作品が少ないです。屋根の計画は屋根の役割がありますが，形状プラスもう少し遊びの部分があっても良いかと思えます。</p>
<p>課題3 木造2階建専用住宅</p> <p>金賞図面は，製図の表現力がすばらしい作品です。上部から光が入る中庭を取り囲むように室を配置し，屋根の形状も曲面を使用する等の工夫をしています。また，構造・法規の整合性等，完成度の高い作品です。</p> <p>金賞以外の作品についても，均衡している作品があります。作品のポイントをしっかりと把握し，個性的な創意工夫をし，そのための表現を工夫し，作品の特徴的な部分を表現すれば，完成度が高まります。</p> <p>一方，基礎的な構造に無理があるもの，特に通し柱の過多や記入漏れが目につきます。</p>
<p>課題4 木造平家建専用住宅 CAD製図</p> <p>金賞図面は，造園計画にCADの素材データを上手に使い表現しています。南立面に円形の明かり取り</p>

窓を付ける等に工夫がみられ、光を取り込んだプランで、立面・断面図で見事に空間の豊かさを表現した作品であることを高く評価します。

金賞以外の図面についてもそれぞれ優秀な図面がありますが、全体的な印象は、平面図の模写において、基本製図力は高いが、各自の設計となる立面・断面図の基本製図力の未熟さが気になります。

課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーション CAD作品

金賞図面は、表題である「く」の字のイメージと計画が一致したオリジナリティ・プレゼンテーション力に優れている作品です。

金賞以外の図面についてもそれぞれ優秀な図面がありますが、表現力不足による基本的製図力の未熟さが目立ちます。次年度は建築物の全体像がわかるような、プランニング・レイアウト・作図表現等、もっと自由な遊び心のある作品を期待します。

[] 平成23年度に向けて

1) 課題1 軒先マワリ詳細図

平成22年度 松丸太の表現を、定規を使用すること。

平成23年度 線と文字の濃さ・線の太さの違い等力強さを感じる作品。

2) 課題2 木造平家建専用住宅

平成22年度 断面形状(ロフトなど)を、平面図に表記する。

平成23年度 屋根構造と形状及び造園計画。

3) 課題3 木造2階建専用住宅

平成22年度 階段に手すりを設置する。

平成23年度 構造と一致する計画・形状。

4) 課題4 木造平家建専用住宅 CAD製図

平成22年度 断面形状(ロフトなど)を、平面図に表記する。

平成23年度 屋根構造と形状及び造園計画。

5) 課題5 木造2階建専用住宅のプレゼンテーション CAD作品

平成22年度 縮尺・延面積を自由にする。

平成23年度 趣旨と計画の一致する作品。

今年度も審査講評を参考にして頂き、ご応募くださるようお願い申し上げます。

平成23年3月31日
製図コンクール運営委員長
塩澤 泰